

土佐清水市基礎データ

合併状況: 昭和29年8月に4町が合併
人口: 12,388人(令和2年国勢調査)
面積: 265.42平方キロメートル

土佐清水市における主な公共交通概要

(幹線)

- ・足摺岬線
四万十市の中村駅を起点とし、清水プラザパル前を経由し大浜まわりで足摺岬まで走る民間事業路線
- ・小才角線
宿毛市の宿毛駅を起点とし、大月町小才角を経由し清水プラザ前まで走る民間事業路線

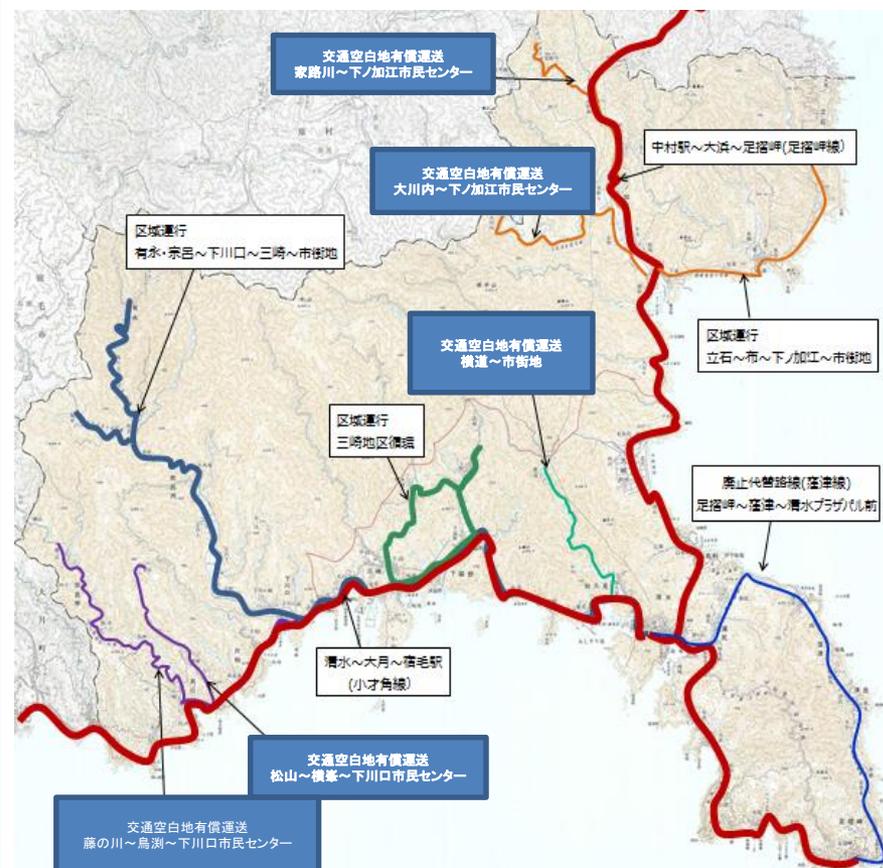
(フィーダー)

- ・足摺岬から窪津を経由し、清水プラザパル前で幹線につながる廃止代替路線バス
- ・下ノ加江下浦バス停で幹線につなぐデマンド区域運行
- ・三崎地区を循環し、幹線につなぐデマンド区域運行
- ・下川口漁港前バス停で幹線につなぐデマンド区域運行
- ・家路川から下浦バス停で幹線につなぐ有償運送
- ・大川内から下浦バス停で幹線につなぐ有償運送
- ・横道から清水プラザパル前で幹線につなぐ有償運送
- ・藤ノ川から下川口漁協前バス停で幹線につなぐ有償運送
- ・松山から下川口漁協前バス停で幹線につなぐ有償運送

地域の交通の目指す姿(事業実施の目的・必要性)

別添1-2参照

土佐清水市の公共交通ネットワーク図



協議会の構成員

高知西南交通(株) (有)足摺交通 龍串見残観光ハイヤー(有)
中村警察署 区長会 四国運輸局 土佐清水市観光協会
土佐清水市商工会議所 高知県 土佐清水市

前年度の事業評価における課題

広報周知やデマンドバス紹介を行う地域への訪問などをおして、公共交通の浸透を図り、アンケート調査等を通じたニーズの把握、公共交通の改善によりさらなる利用者の増加を目指すことが課題である。

定量的な目標・効果

(目標)

・1月当たり運行回数を下ノ加江地区51回以上、下川口地区102回以上、三崎地区48回以上とする。

(効果)

・当該路線を維持することにより、交通空白地の高齢者等の生活に必要な移動手段が確保される。また、幹線を走る路線バスと連携することにより、広域的な移動利便性が向上する。
・通学生の通学手段を確保することで、保護者等の負担を減らし自動車利用の抑制を図る。

フィーダー系統図



「定量的な目標・効果」達成のための具体的な取組

- ・令和5年6月21日に協議会総会を開催しフィーダー系統確保維持計画について協議を行い、これまでの実績を踏まえた今後の運行回数等の目標設定について検討を実施した。
- ・市の広報紙やホームページでの周知、免許返納後のバスタクシーチケット申請者への紹介などを行い、デマンドバスの周知を実施した。
- ・交通空白地の交通利便性向上のため、住民説明やニーズの調査を行いつつ、新たに路線を設けるための準備を行った。

自己評価

事業実施の適切性

- ・下ノ加江地区
事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。
- ・下川口地区
事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。
- ・三崎地区
事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。

「定量的な目標・効果」の達成状況

- ・下ノ加江地区において目標を達成した【運行回数目標51回/月に対し、実績値は60回/月】
- ・下川口地区において目標を達成した【運行回数目標102回/月に対し、実績値は109回/月】
- ・三崎地区において目標を達成した【運行回数目標48回/月に対し、実績値は51回/月】

今後の事業に向けた改善点

現在最新のアンケートの取りまとめを行っているところであり、新たなニーズの把握を行うとともに、利便性向上のための検討を行っていく。

引き続き広報紙等での周知活動の実施や、サロンの訪問ができていない地域に赴き、デマンドバスや乗り方の周知に努める活動を実施していく。

その他PRポイント

令和5年度より土佐清水市地域公共交通計画を実施していく予定であり、今後も利用者のニーズに合わせた取り組みを行っていく。